

第 20 号

発行：平成 25 年 1 月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：114 名(平成 25 年 1 月 13 日現在)

(家族会員=8 名、個人会員=106 名)

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内

連絡先：電話 0598-56-6847

Fax 0598-56-7328

発行責任者：飯田 秀

新年のご挨拶

役員 中村 益 郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
平素は「松浦武四郎記念館友の会」の活動に於いて、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年、研修バス旅行では兵庫県に在る生石神社、曾根天満宮参拝、日笠山など散策。武四郎誕生地の活用に向けたシンポジウムへの参画。会員有志による佐佐木信綱記念館顕彰会との交流会、信綱かるた道を歩いて信綱が父に連れられて参拝したと云う大木神社参拝。恒例の市政バス研修旅行では、原田二郎旧宅など訪れました。

今後、一層の武四郎誕生地の保存や武四郎翁の業績について勉強を続けると共に、飯田会長を中心に役員が連携を取りながら友の会発展に努めたいと思います。

今後とも会員皆様のご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



今年も宜しく申し上げます。

役員一同

今後の主な行事の予定

会員懇談会のお知らせ

3月10日(日)の講座会の後(11時頃から)恒例の会員懇談会を開催します。

総会の予定

5月12日(日)の講座会の後(11時頃から)総会を開催する予定です。

バス研修旅行の予定

平成25年度の研修旅行は4月26日(金)に開催する予定です。

武四郎が神鏡を奉納した奈良県桜井市の与喜天満宮及び周辺の旧跡を巡ります。

市政バスツアー実施報告

平成24年11月7日友の会の自主事業として市政バスを利用し、松阪浄化センターと市内の旧跡などを巡る研修を行いました。参加されたお二人に感想文をいただきました。

【 市政バス研修ツアーに参加して 】 会員 柴田 実

11月7日(水)「松阪市内の施設と史跡を巡り学ぶ市政バスツアー」を友の会に企画頂きましたので喜んで参加致しました。当日は少し風がありましたが好天に恵まれて、松阪浄化センター(高須町)、原田二郎邸、市立歴史民俗資料館(殿町)と健康センター(春日町)を、それぞれの施設で丁寧な説明のもと見学することが出来ました。



原田二郎邸前

浄化センターでは、汚水を微生物の力を使って綺麗な水に変える仕組みを、顕微鏡を通して生の微生物を観察し浄化システムを深く理解することが出来ました。市指定有形文化財の原田二郎旧宅では、銀行業に携わりながら、長年に渡っての節約によって蓄積した資金全てを、広い地域の公共福祉に捧げるという松阪偉人の行動力に触れることが出来ました。歴史民俗資料館では津嶋屋展が開催されていて、松坂木綿の繁栄経過と数々の豪商を生んだ松阪商人をより知ることが出来ました。最後の見学地となった健康センターでは、私達一人ひとりの健康維持や増進に対してや、休日に安心できる機能を深く認識することが出来ました。今回見学した施設の中で、見学者から最も多くの質問があつた施設は当健康センターで、皆さんが健康には大変関心を持っていることも現れていました。尚、昼食は食材と味の質の高さに加えてボリュームある弁当を調達頂きまして、参加費用以上のもてなしに与かり、脳と胃が大いに満足出来た一日でありました。



健康管理センターでの説明

【 松阪浄化センターの見学 】 会員 赤塚 忠

11月の松浦武四郎記念館友の会主催の市政バス研修ツアーに初めて参加させて頂きました。私自身以前から環境について関心をもっておりまして、現在も地元の環境について取り組んでおる関係で今回の浄化センターの研修は得るものがありました。

最初の見学先である松阪浄化センターでは、家庭などから出る汚水を処理する拡大な施設について所長さんから説明がありました。

ゆっくりと流れてくる下水を最初は沈殿池で分類されて重いものについて、現在は車で汚泥焼却炉へ運んで処理されていますが、将来は直接汚泥焼却炉へ接続される計画と説明がありました。

上澄水は生物反応槽に送られます。これに微生物を多く含んだ活性汚泥とを攪拌して微生物に食べさせます。(窒素はガス化して大気に放出、リンは汚泥焼却炉で処理)

更に、濾過池では石灰片・砕石・砂を通して松阪港へ放流します。

大量に流入する下水は一日かけて処理されていることに感動を覚えました。

私達も水の使い方に注意すると共に常に関心を持っていきたいと思えます。



松阪浄化センターでの説明

友の会主催の講座開催！！

11月11日(日)の武四郎講座は友の会主催で、講師に福永昭(友の会会員・武四郎を読む会会長)を迎えて、「武四郎と交流のあった人びと」を演題に講座を開催しました。

講座の内容は、武四郎が収集した「渋団扇帖」のE・S・モースの年譜、モースの大森貝塚発見の経緯、大森貝塚に関わる人物などについて関連資料を調査した内容を紹介され、いつもの山本命学芸員の講座とは趣の異なる講座となりました。

又、調査の過程で三重県立博物館にE・S・モースの子孫の方が勤めて居られることが分かったとのこと紹介され、調査する過程の楽しさを語られました。



熱心に講義される福永さん

【松浦武四郎誕生地保存会の研修会報告】

武四郎翁と佐佐木信綱の繋がり、信綱が幼少時代に父(弘綱)に連れられて武四郎に会った時に、自分が詠んだ歌を見て貰ったのが切っ掛けで、後の歌人信綱が誕生したと云っても良いと思います。

その記念館と隣に在る生家の見学や東海道石薬師宿信綱かるた道の散策を目的に保存会主催の研修会が開催されました。

10月4日(木)参加者19名(友の会会員11名)が参加して武四郎記念館をバスで9時に出発して佐佐木信綱記念館へ、記念館・坂尾館長から生家と石薬師文庫内の案内説明。その後は、友の会飯田会長(誕生地保存会副会長)の案内説明で、浄福寺に在る弘綱の記念碑・佐佐木家の墓地(信綱の歌碑)へ、午後は信綱かるた道の歌額を見ながら散策して、小澤本陣跡・信綱が毎月父に連れられて参拝した大木神社では集合写真の撮影。



大木神社前で

次に歌額1番目の北町の地藏堂見学から記念館へ戻りバスに乗って、石薬師寺では住職の説法を聞かせていただき、最後の歌額36番目石薬師一里塚の説明を聞いた後、バスに乗って帰路へ

感想としては事前にポイントを調査の上、中野館長を含む3名で下見に行き、コースや時間の確認をされたお陰で有意義な研修会であった。武四郎誕生地も2018年にはオープン計画であり参考になることもあったと思います。又、伊勢街道沿いにも屋号看板が4年前に取付けられていますが、今回の東海道かるた道を散策して参考になったところは今後に生かせればと思います。

第18回武四郎まつり実行委員長に友の会会長が就任

前回に引き続き、実行委員長に選出され半年前から実行委員会で検討を重ね新しい事も取り入れ、武四郎の功績を顕彰すると共に三雲管内の子ども達に武四郎に関心を持って貰い「武四郎まつり」に目を向けて頂くために、今年から地元小学校以外の3校区を順に出前イベント「たけちゃんまつり」に取り組みました。今回は鶴(かささぎ)小学校体育館をお借りして食生活改善推進協議会・鶴まちづくり協議会さんにも協力して頂き、多く親子さんが参加され武四郎を学んで頂いたことと確信しております。



開会挨拶する飯田会長(昨年)

又、今年2月24日(日)に開催される武四郎まつりでは、アイヌ古式舞踊については札幌からアンコラチ・メノコウタラ(ありのままの私)12名がステージで古式舞踊をされますので楽しみ

にしてください。

今回の「武四郎まつり」には、北海道命名の地で知られる音威子府村から佐近村長さんが来られ、ステージでの挨拶とテント内では地産の販売コーナーも設置予定。

県観光誘客課からは、吉本芸人が武四郎を取り入れたイベントも計画しています。

昨年以上に多くの入場者が来られることをスタッフ一同が願っております。

第18回武四郎まつり実行委員長 飯田 秀

「たけちゃんまつり」については、

平成24年12月2日付 中日新聞に掲載されました。

このまつりは、未来を担う子供達にも、武四郎の功績を知ってもらうことを目的に、今年初めて松阪市鶴小学校で開催され、アイヌ語のカルタ取り、北海道図のパズル組立て、アイヌ文様の切り絵工作など、子供たちが楽しみながら取り組みました。更に、北海道の食材を使った鍋料理の振舞いもありました。

僕も参加します！
みんな来てね。



【松浦武四郎記念館よりのお知らせ】

武四郎講座のご案内 下記は予定ですので、変更になる場合があります。

- 2月10日(日)10時～ テーマ：松浦武四郎翁の収集品推論、
講師：米本一美(友の会会員・「武四郎を読む会」前会長)
- 3月10日(日)10時～ テーマ：癸未溟誌を読む—明治16年の武四郎
講師：山本 命学芸員
- 4月14日(日)10時～ テーマ：隔靴搔痒の日々(北畠氏の末裔を語る)、
講師：橋本 晃(友の会会員)

展示のご案内

- ◆AINU ART-風のかたりべ・・・・・・・・ 1月20日(日)まで
アイヌ民族の現代作家の方々の刺繍や木彫りの作品を展示しています。
- ◆武四郎と幕末の志士たち・・・・・・・・1月22日(火) ～ 3月20日(水)まで
ペリー来航など相次ぐ諸外国の来航の中で、尊王攘夷の志士たちや幕臣など、幕末に活躍した多くの人物と交流する姿や、出版活動を行うなど、志士としても活動した松浦武四郎の姿を紹介します。
- ◆武四郎の晩年・・・・・・・・・・・・・・3月22日(金) ～ 5月19日(日)まで
松浦武四郎は晩年に、大台ヶ原登山や一畳敷の書齋を作るなど、精力的に活動しました。老いてなお衰えることの無かった武四郎の姿を、多彩な展示資料から紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

武四郎まつりご協力をお願い

今年も2月24日(日)武四郎まつりが開催され、友の会としてコーナーを設け友の会活動の紹介、書籍の販売、誕生地及び真覚寺の案内、記念館事務局のお手伝い等を行います。

応援して頂ける方を募集します。短時間でも構いません多くの方のご協力をお願いします。

詳細のお問合せや協力申込みは松浦武四郎記念館まで(電話 0598-56-6847)